



2021-22

WEリーグ総括

## 理念

女子サッカー・スポーツを通じて、**夢や生き方の多様性**にあふれ、  
**一人ひとりが輝く社会**の実現・発展に貢献する。

### VISION 01：サッカー事業

世界一の女子サッカーを。

- ・世界トップ水準の競技力を維持し世界のトップ、選手が集うリーグとなる。
- ・世界最高水準の選手・スタッフを輩出する。
- ・日本全国で女子サッカーの競技力のボトムアップを実現する。
- ・日本各地に女子がサッカーを楽しめる場を広げる。

### VISION 02：社会事業

世界一アクティブな女性コミュニティへ。

- ・女性が起点となり、社会全体に前向きな変化を生み出す原動力になる。
- ・スポーツの枠を超えて、さまざまな個人、団体、企業の集まるプラットフォームとなる。

### VISION 03：組織・事業基盤

世界一のリーグ価値を

- ・社会面、競技面の発展を支える、リーグ基盤（財政・組織）を確固たるものとする。
- ・リーグの本質的価値を事業成果としてあらわす。
- ・多種多様な働き方を内包した、社会のロールモデルとなる組織を実現する。



設立意義に基づいて理念とビジョンを掲げ、日本初の女子プロサッカーリーグを設立。プロリーグとして必要な組織・事業基盤を構築し、サッカー事業では年間110試合のYogibo WEリーグの開催、社会事業ではWE ACTIONをはじめとする各種事業を開始した。コロナ禍における逆風の中でのスタートとなったが、安心安全なリーグ運営に努めた結果、大きな事故なく初年度を終えられたことは大きな喜びである。

## VISION 01：サッカー事業



- ・プロ化による環境改善
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・「激しくフェア」なプレー



- ・スタジアム集客に注力
- ・リーグ認知度向上、興味関心の拡大
- ・競技力の可視化

## VISION 02：社会事業



- ・社会事業「WE ACTION」の構築
- ・クラブ・選手による「WE ACTION DAY」を年間で22回開催
- ・パートナーやメディア、クラブ・選手が参加する「WE ACTION MEETING」を計4回開催



- ・「課題発見」から「実践」へ移行。
- ・ステークホルダーと連携し、具体的なアクションを創出する。

## VISION 03：組織・事業基盤



- ・11社とパートナーシップ契約を締結
- ・公益法人化
- ・女性登用の見える化



- ・集客強化による収入源の確保
- ・さらなるパートナーシップの構築
- ・クラブ経営状況把握と経営の安定化
- ・女性リーダー育成、意識改革

## 「世界一の女子サッカーを」

- ・世界トップ水準の競技力を維持し 世界のトップ、選手が集うリーグとなる。
- ・世界最高水準の選手・スタッフを輩出する。

- ・日本全国で女子サッカーの競技力のボトムアップを実現する。
- ・日本各地に女子がサッカーを楽しめる場を広げる。



### TOPICS

#### ✓ プロ化による環境改善

- ・延べ335名のWEリーガーが誕生。うち206名がプロ契約を締結。
- ・外国籍選手獲得支援制度の設立。実績は5名（ASEAN 3名、その他2名）。

#### ✓ 新型コロナウイルス感染症対策

- ・選手/スタッフの感染による試合延期なし

#### ✓ 「激しくフェア」なプレー

映像分析ソリューション「InStat」によると、

- ・他国に比べてWEリーグはハイプレスでファウルが少なく、ファウルなしでボールを奪取できている。
- ・クロスの成功率は世界に比べて高い。精度の高いピンポイントクロス、コンビネーションからのクロスはWEリーグ=日本女子サッカーの武器になる。

#### ✓ 総来場者数は約17万人。1試合平均は1,560人。

- ・全110試合の総来場者数171,601人となった。1試合平均1,560人。最多は12,330人。
- ・チーム単位の平均観客数では、3,000人を超えるチームと1,000人を割り込むチームとで差が生まれている。
- ・Jリーグ・WEリーグ共催を2会場で開催。
- ・WEリーグ初の国立開催で、最多観客数12,330人を記録。



- ・女子トップリーグのプロ化により、女子選手も「プロサッカー選手」を目指せる環境が実現。
- ・トレーニングや身体のケアに時間を費やせるように。
- ・「激しくフェアなWEリーグ」インテンシティが高く、ファウルなしでボール奪取。クロス成功率も高い。（映像分析「InStat」による）
- ・新型コロナウイルス感染症対策の徹底。選手・スタッフの感染による試合延期はゼロ。



- ・スタジアム集客に注力。コロナ禍でスポーツ業界全体が苦戦しているが、平均来場者数の底上げが至上命題。
- ・クラブ単位では集客力が二極化。個別の目標設定などの必要がある。
- ・全国調査や顧客分析を基にリーグの認知度向上、興味関心の拡大、来場促進の施策をリーグ全体で遂行。
- ・パフォーマンス系の競技データ開示による競技力の可視化

「世界一アクティブな女性コミュニティへ」

- ・女性が起点となり、社会全体に前向きな変化を生み出す原動力になる。
- ・スポーツの枠を超えて、さまざまな個人、団体、企業の集まるプラットフォームとなる。



TOPICS

## ✓ 社会事業「WE ACTION」を開始

- ・社会課題の解決に向けて、パートナー企業やクラブ・選手がフラットにつながるコレクティブインパクト構造を採用。

## ✓ クラブ・選手による「WE ACTION DAY」を年間で22回開催

- ・1クラブにつき年に2回の理念推進活動「WE ACTION」を展開。企画段階から選手たちが参加し、地域に根差した活動を展開した。

## ✓ パートナーやメディア、クラブ・選手が参加する「WE ACTION MEETING」を計4回開催

- ・2021-22シーズンのテーマを「課題の発見とリスト化」とした。
- ・パートナーやメディア、クラブ・選手とともにジェンダー課題のリストアップを実行した。



- ・「WE ACTION」として他スポーツ団体には類を見ない様々な社会活動を実行。
- ・「WE ACTION DAY」では、選手たちが主体的に活動に参加。各クラブで趣向を凝らした多様な活動が展開された。
- ・「WE ACTION MEETING」では、初年度として「課題の発見とリスト化」に着手。職業や性別の垣根を越えてジェンダー課題を議論した。



- ・「WE ACTION MEETING」は、課題発見フェーズから「実践フェーズ」へ移行。課題に対して、様々なステークホルダーと連携し、具体的なアクションをアウトプットする。
- ・「WE ACTION DAY」では、ジェンダーの要素を追加することを推進する。
- ・「WE ACTION」の活動を周知、広報していくことで、WEリーグの新たな魅力・価値を発信する。

「世界一のリーグ価値を」

- ・社会面、競技面の発展を支えるリーグ基盤（財政・組織）を確固たるものとする。
- ・リーグの本質的価値を事業成果としてあらわす。
- ・多種多様な働き方を内包した、社会のロールモデルとなる組織を実現する。



## TOPICS

### ✓ 11社とパートナーシップ契約を締結

- ・タイトルパートナー「Yogibo」をはじめとする合計11社とのパートナーシップ契約を締結。
- ・DAZNとオフィシャルブロードキャスティングパートナー契約を締結し、全試合をDAZNで配信。

### ✓ 公益法人化

- ・2021年7月1日、一般社団法人から公益社団法人に移行。法人設立から1年での公益化となった。

### ✓ 女性登用の見える化

- ・リーグ事務局ならびにクラブ運営法人の女性登用率が見える化し、2021年9月に公表。クラブを含むリーグ全体において、女性の割合は39.4%となった。
- ・国内競技団体として初めて署名した「女性のエンパワーメント原則（WEPS）」に沿って、女性活躍の取り組み状況をレポート化し公表。



- ・1期目からWEリーグの理念やビジョンに共感してくださるパートナー企業を11社獲得。プロリーグとしての確固たる基盤を構築。
- ・リーグ運営法人としての基盤を整備し、公益法人として認定。
- ・女性登用の現状把握と改善の第一歩として、登用率の見える化を実行。各クラブからステイトメントも発表し、社会のロールモデルとなる組織を目指して前進した。



- ・集客、プロモーション強化による収入源の確保
- ・事業拡大に向けて、さらなるパートナーシップの構築ならびに新規パートナー企業の獲得を目指す。
- ・クラブの経営状況を把握し、リーグ全体経営の安定化。
- ・女性登用については、各クラブが努力している。女性取締役や意思決定者の候補者不足、組織構造上の問題による配置の難しさなど、課題も見えてきた。  
→組織による女性リーダー育成の意識や戦略が必要。女性リーダーシップ研修など、根気強く継続。

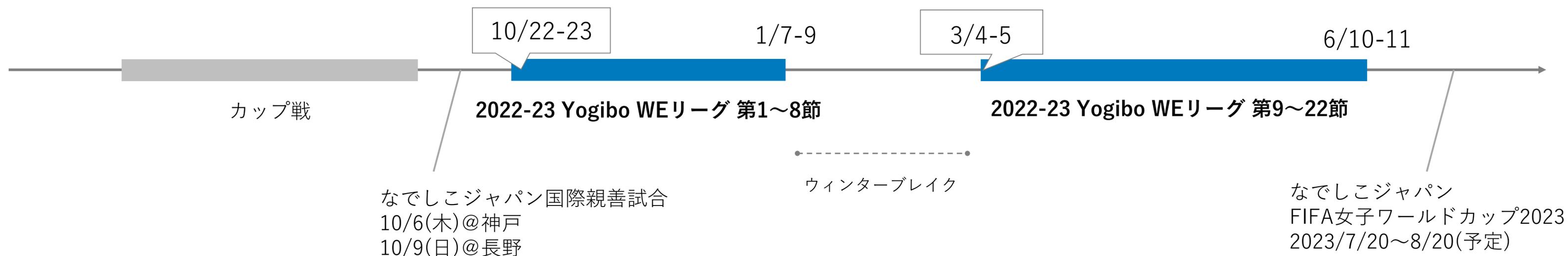
# 2022-23シーズン事業計画・予算方針

## 【 2022-23シーズン 予算方針 】

2シーズン目となる2022-23年は約12億円の事業規模とし、「試合数増加」「スタジアム観客数の底上げ」に取り組む。

- ① クラブへの配分金は昨年同様に担保し、クラブ経営の安定化を目指す。
- ② 試合数の増加を図るため、今期の新規事業としてカップ戦を開催する。
- ③ スタジアム観客数の底上げに向けて、WEリーグの認知度向上や興味関心の拡大、来場促進につながる施策をリーグ全体で遂行する。  
理念推進活動においても、理想のスタジアム実現のために具体的なアクションを創出することに注力する。
- ④ 新型コロナウイルス感染症対策として、その不確実性も考慮し「予備費」として計上。中止等が発生した場合の対応費とする。

## 2022-23シーズンカレンダー



# 参考 | 2021-22 Yogibo WEリーグ入場者数

節	マイ仙台	浦和	大宮V	EL埼玉	千葉L	東京NB	N相模原	AC長野	新潟L	I神戸	S広島R	合計	平均
1	9/12 vsN相模原 1,741			9/12 vsS広島R 1,390		9/12 vs浦和 2,427			9/12 vsAC長野 1,423	9/12 vs大宮V 4,123		11,104	2,221
2		9/20 vsN相模原 3,256	9/20 vs新潟L 3,419		9/20 vsEL埼玉 3,463			9/18 vs東京NB 1,957			9/18 vsマイ仙台 2,153	14,248	2,850
3	9/26 vs大宮V 1,103					9/25 vsS広島R 1,720	9/26 vsAC長野 1,900		9/26 vsEL埼玉 1,004	9/26 vs千葉L 1,387		7,114	1,423
4			10/2 vs浦和 3,364	10/2 vsマイ仙台 741	10/2 vs東京NB 1,281			10/2 vsI神戸 1,688			10/2 vs新潟L 1,078	8,152	1,630
5	10/9 vs千葉L 1,071	10/10 vsAC長野 1,621	10/10 vsS広島R 1,526				10/10 vsEL埼玉 704			10/10 vs東京NB 2,372		7,294	1,459
6		10/16 vsS広島R 1,591				10/16 vsEL埼玉 1,405		10/16 vs千葉L 1,140	10/17 vsマイ仙台 814	10/17 vsN相模原 1,863		6,813	1,363
7			10/31 vsAC長野 1,399	10/30 vsI神戸 953	10/31 vs浦和 2,397	10/31 vs新潟L 1,245					10/31 vsN相模原 1,162	7,156	1,431
8	11/6 vs東京NB 810	11/7 vsI神戸 1,846		11/7 vsAC長野 705			11/6 vs大宮V 714		11/6 vs千葉L 841			4,916	983
9		11/13 vsマイ仙台 4,509	11/13 vsEL埼玉 1,959		11/14 vsN相模原 1,170			11/14 vsS広島R 1,231		11/14 vs新潟L 3,533		12,402	2,480
10	11/21 vsI神戸 1,362			11/20 vs浦和 1,947		11/20 vs大宮V 1,967	11/20 vs新潟L 446				11/20 vs千葉L 850	6,572	1,314
11					12/18 vs大宮V 719		5/4 vs東京NB 1,003	5/4 vsマイ仙台 805	5/3 vs浦和 972		5/4 vsI神戸 1,543	5,042	1,008
12	3/5 vsS広島R 1,087	3/5 vs千葉L 1,039	3/6 vsN相模原 4,024			3/5 vsAC長野 848				3/5 vsEL埼玉 1,270		8,268	1,654
13				3/12 vs大宮V 1,039	3/12 vsI神戸 786		3/13 vs浦和 1,014	3/13 vs新潟L 875			3/12 vs東京NB 790	4,504	901
14		3/21 vsEL埼玉 1,404			3/21 vsS広島R 689	3/19 vsN相模原 1,038			3/20 vs大宮V 761	3/19 vsマイ仙台 1,357		5,249	1,050
15	3/27 vsAC長野 814		3/27 vs東京NB 1,139	3/26 vs新潟L 450			3/27 vs千葉L 603				3/27 vs浦和 903	3,909	782
16		4/3 vs大宮V 2,245			4/2 vsマイ仙台 596	4/3 vsI神戸 2,801		4/3 vsEL埼玉 764	4/3 vsN相模原 718			7,124	1,425
17	4/17 vs新潟L 1,505		4/17 vs千葉L 1,045	4/17 vs東京NB 957			4/16 vsS広島R 791			4/16 vsAC長野 1,048		5,346	1,069
18	4/24 vsEL埼玉 876					4/23 vs千葉L 1,591		4/23 vs浦和 1,045	4/24 vsI神戸 849		4/24 vs大宮V 922	5,283	1,057
19		4/29 vs新潟L 1,390	4/30 vsマイ仙台 1,632	5/1 vsN相模原 1,041	4/29 vsAC長野 365					4/29 vsS広島R 2,301		6,729	1,346
20	5/7 vs浦和 1,364						5/8 vsI神戸 1,146	5/7 vs大宮V 1,053	5/8 vs東京NB 1,262		5/8 vsEL埼玉 1,187	6,012	1,202
21				5/15 vs千葉L 1,162		5/15 vsマイ仙台 1,838		5/14 vsN相模原 1,192	5/15 vsS広島R 929	5/14 vs浦和 12,330		17,451	3,490
22		5/22 vs東京NB 2,423	5/22 vsI神戸 3,281		5/22 vs新潟L 2,233		5/22 vsマイ仙台 1,234				5/22 vs AC長野 1,742	10,913	2,183
<b>合計</b>	<b>11,733</b>	<b>21,324</b>	<b>22,788</b>	<b>10,385</b>	<b>13,699</b>	<b>16,880</b>	<b>9,555</b>	<b>11,750</b>	<b>9,573</b>	<b>31,584</b>	<b>12,330</b>	<b>171,601</b>	<b>34,320</b>
<b>平均</b>	<b>1,173</b>	<b>2,132</b>	<b>2,279</b>	<b>1,039</b>	<b>1,370</b>	<b>1,688</b>	<b>956</b>	<b>1,175</b>	<b>957</b>	<b>3,158</b>	<b>1,233</b>	<b>7,800</b>	<b>3,120</b>

1試合平均： 1,560

